

軌道安定剤 ロバン 1缶10ℓ入り

ロバンは、ばらし易い

継目落ち・軌道安全対策に



昨今の軌道状況は、列車の高速化、編成の長大化等による通過トン数が増大し、継目落ち等によるレール、付帯設備への悪影響が乗り心地等の列車安定性にも影響し、軌道に大きく影響されることは言うまでもありません

そこで当社では、動的な軌道の根本である道床を固定するのではなく柔軟にレールを保持し、継目落ちを止め、これらの悪影響を防ぐ軌道安定剤を開発いたしました



1缶10ℓ入り

簡単施工

1液性なので施工が簡単。缶を開け、散布するだけです
10リットル缶なので持ち運びが容易です
散布後は硬化が早い（約20分で表面硬化）
散布時期はすべての季節に対応できます
1缶で散布できる目安は、まくらぎ約1.5本分の範囲です

安心安全

シリコン成分を含んでいないため、信号リレーの接点を傷めません
消防法第4類第4石油類なので安全です
未開封状態で約1年保管可能です
本製品は湿気硬化型になります



注意事項

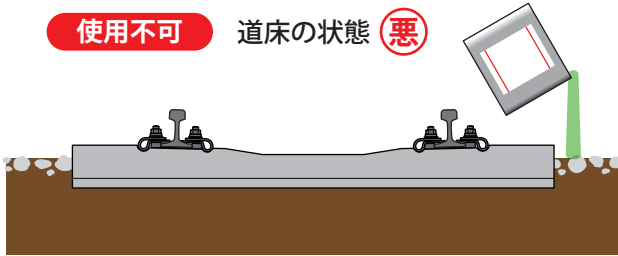
- ご使用の際は、保護手袋や保護眼鏡を着用してください。眼に入った場合は、水で数分間洗ってください。また、皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗ってください。
- 開封後は使い切ってください。
- 容器を密閉して涼しく換気の良いところで保管してください。
- 激しい雨を避けて施工してください。

1. 軌道安定剤「ロバン」の使用条件

道床劣化の少ないバラストの状態が良好な軌道に使用することで軌道の健康状態を維持することができます。

使用不可

道床の状態 **悪**



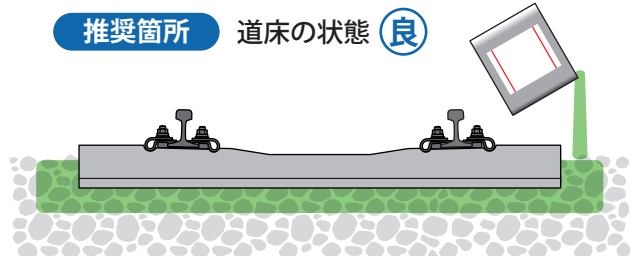
まくらぎ直下方向への浸食ができないため、ロバンが溜まってしまい正しい効果が得られません。

道床細粒化や噴泥箇所▶



推奨箇所

道床の状態 **良**



まくらぎ直下方向に浸食し、ロバンによって壁をつくることができます。

バラストが良好な状態▶

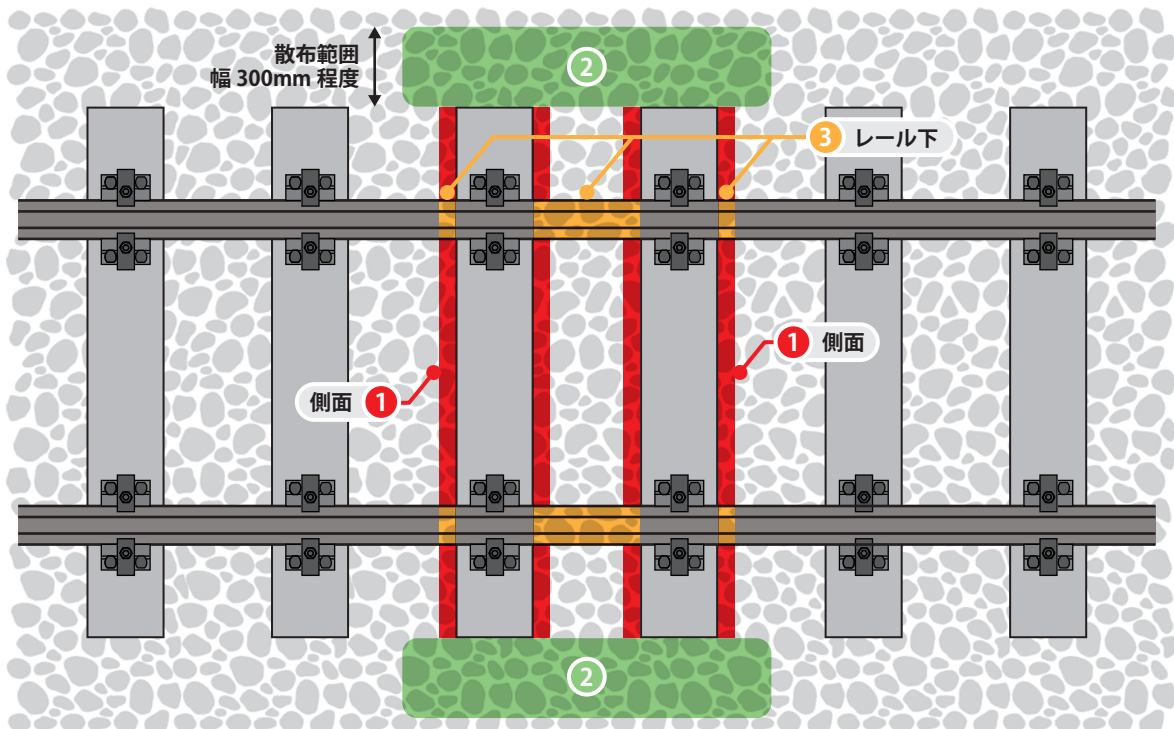


2. 軌道安定剤「ロバン」の散布範囲

- 1 ロバンの缶の蓋を開け、まくらぎ側面に沿って散布する。
- 2 まくらぎ端部（まくらぎ端面より約300mm外側まで）に散布する。
- 3 レール下にロバンを流し込む。（じょうろなどを使用すると作業が容易）

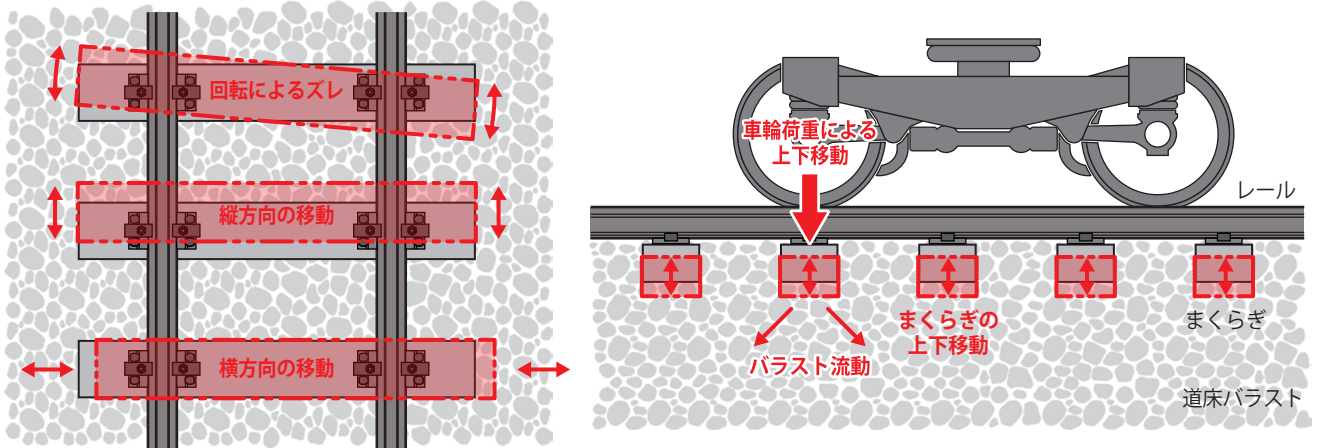
上記3点の範囲に散布していくことを推奨します。

ロバン1缶に対して下記範囲に散布することを目安に、できるだけ均等に散布してください。

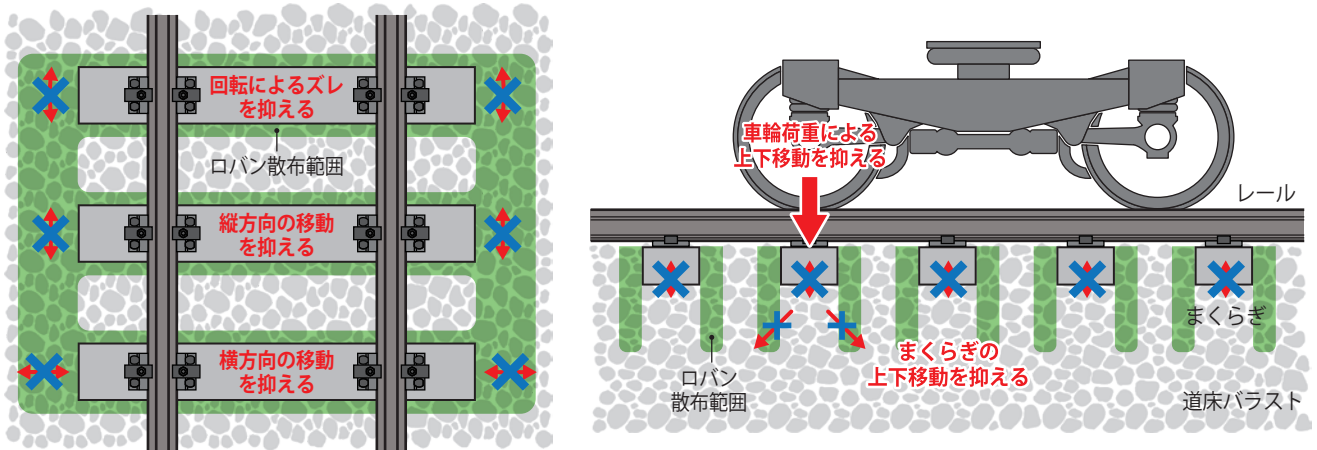


3. 軌道安定剤「ロバン」の散布効果

「ロバン」散布前のまくらぎの状態



「ロバン」散布後のまくらぎの状態



まくらぎ周囲にロバンを散布し、固める事で、回転によるズレ、縦方向、横方向の移動を抑える事を目的とします。

ロバンによって壁を作る事で、バラスト流動を防止し、まくらぎ下に空間を作らない事により、レール高低変位を最小限に抑える事を目的とします。